

# 広報

# わかふじ

11 5  
2002  
No.813  
毎月5日・20日発行



## 実りの秋を実感

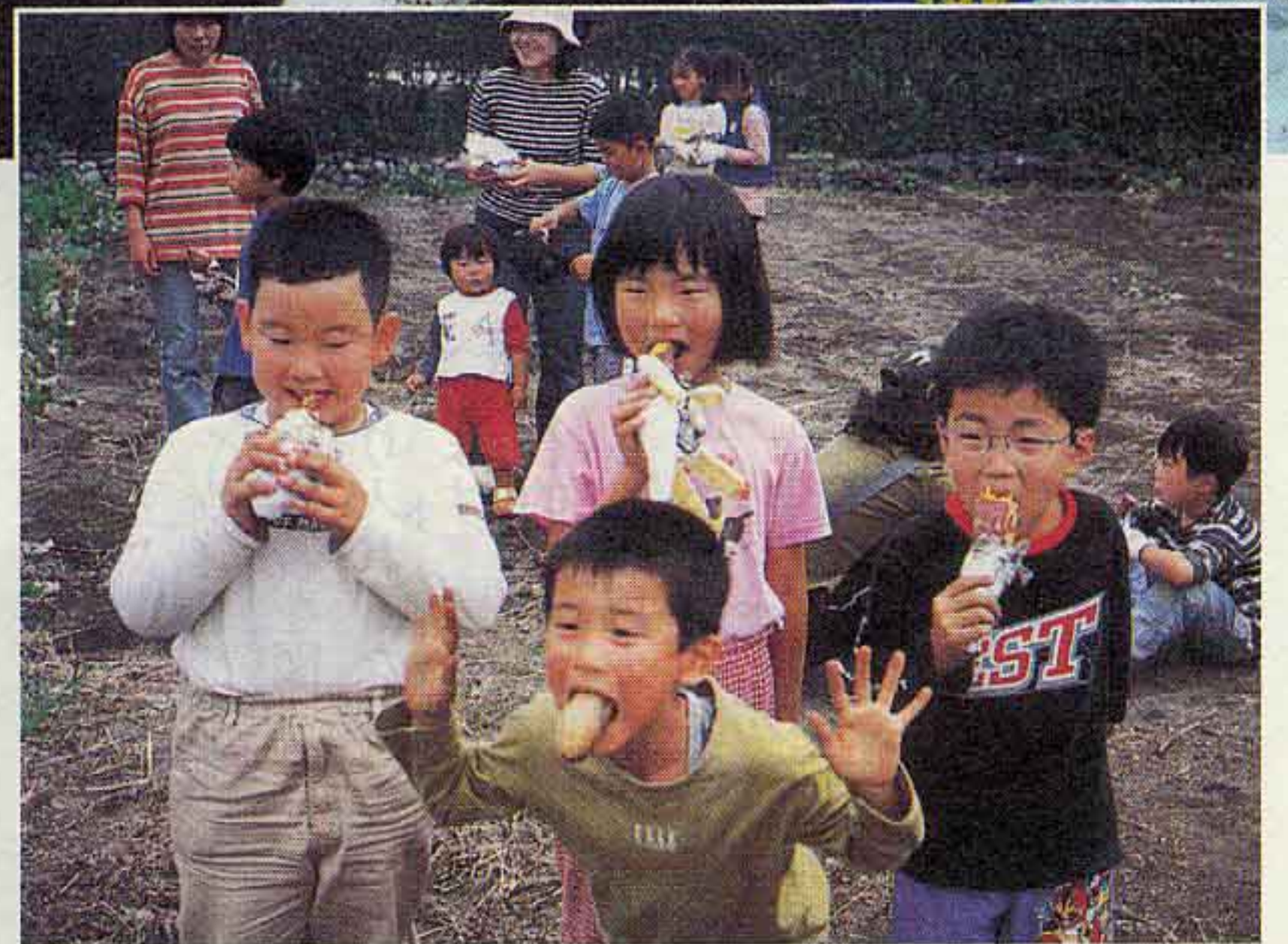
元吉原・原田公民館合同少年教育事業

さつまいも収穫祭 10月19日

主な内容

学校週5日制を考える

平成14年度富士市地域社会貢献者褒賞表彰





# 学校週五日制を考える

ことしの4月から始まった完全学校週5日制。土曜日が休みになって子どもたちの生活はどのように変わったのでしょうか。また、学校週5日制によってできたゆとりの中で、子どもたちの生きる力をはぐくんでいくにはどうしたらいいのでしょうか。今回の特集では、学校週5日制について考えてみます。

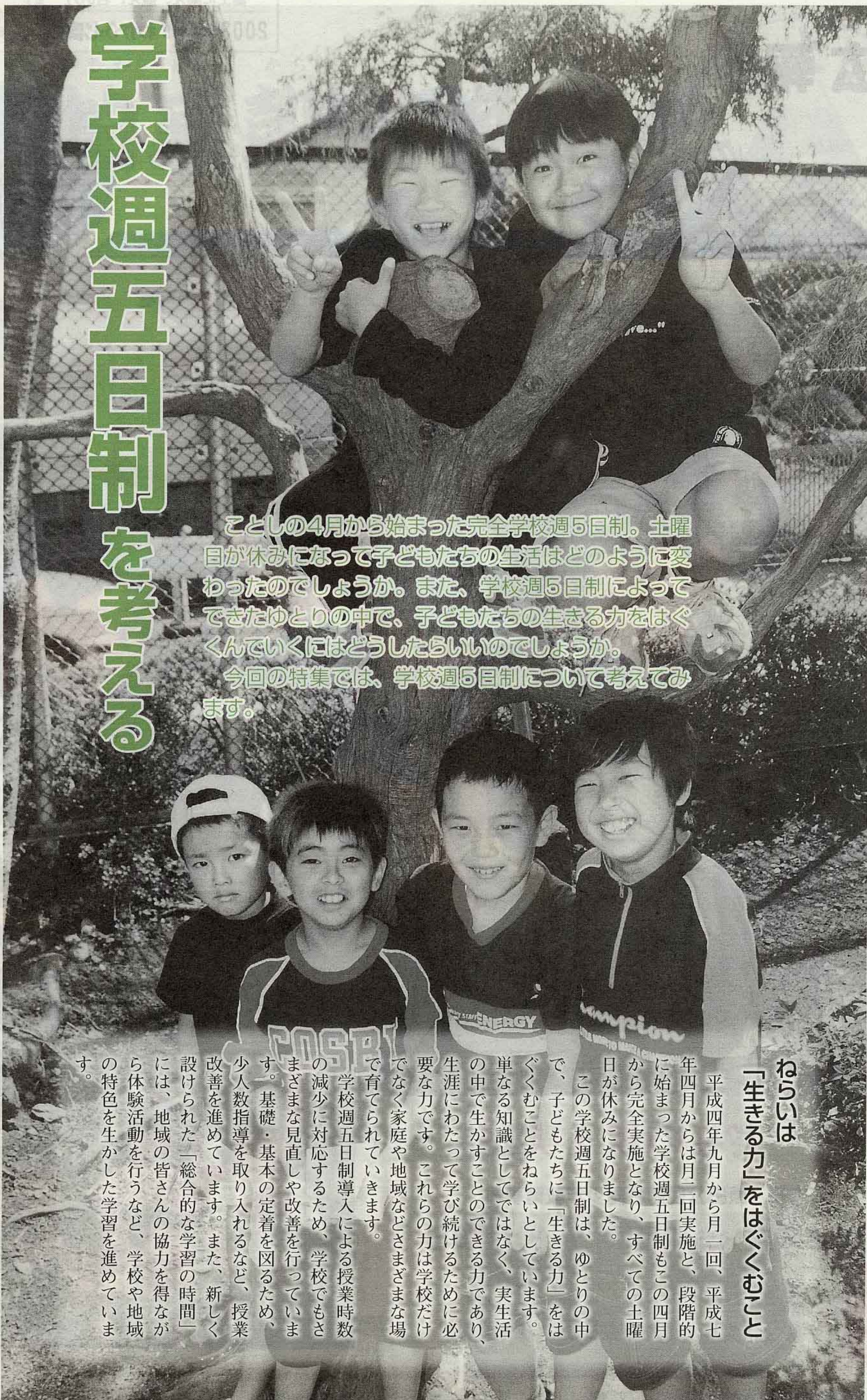
ねらいは

「生きる力」をはぐくむこと

平成四年九月から月一回、平成七年四月からは月二回実施と、段階的に始まった学校週5日制もこの四月から完全実施となり、すべての土曜日が休みになりました。

この学校週5日制は、ゆとりの中で、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことをねらいとしています。単なる知識としてではなく、実生活の中で生かすことのできる力であり、生涯にわたって学び続けるために必要な力です。これらの力は学校だけでなく家庭や地域などさまざまな場で育てられていきます。

学校週5日制導入による授業時数の減少に対応するため、学校でもさまざまな見直しや改善を行っています。基礎・基本の定着を図るため、少人数指導を取り入れるなど、授業改善を進めています。また、新しく設けられた「総合的な学習の時間」には、地域の皆さんの協力を得ながら体験活動を行うなど、学校や地域の特色を生かした学習を進めています。





# 学校週5日制

富士市教育委員会実施

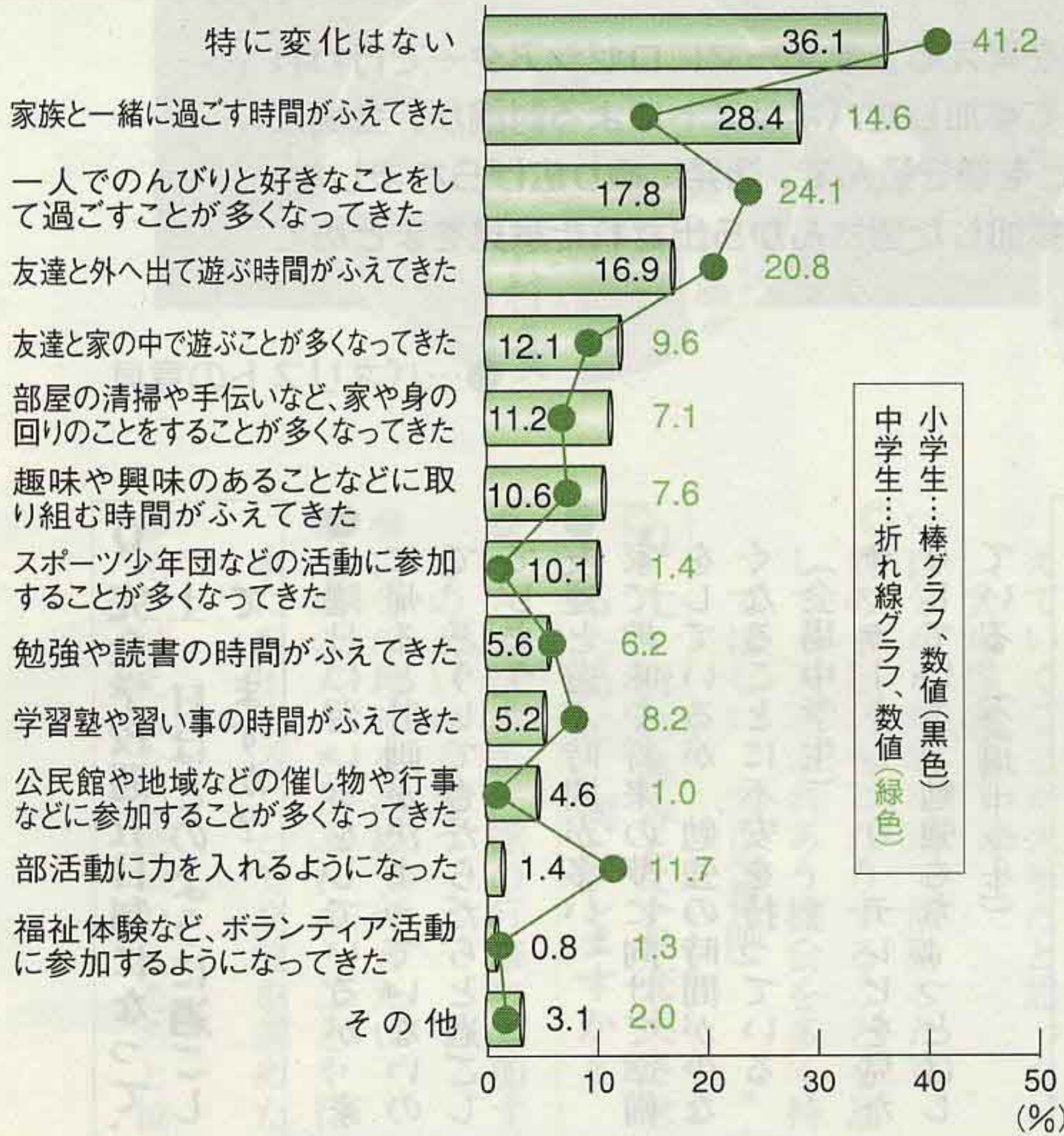
～「学校週5日制の完全実施に関する調査」より～

調査対象 市内全小中学校（小学校25校、中学校14校）より無作為抽出した児童生徒とその保護者（小学生1万5,238人中1,003人、中学生7,805人中942人）

調査実施日 平成14年9月25日

## 保護者

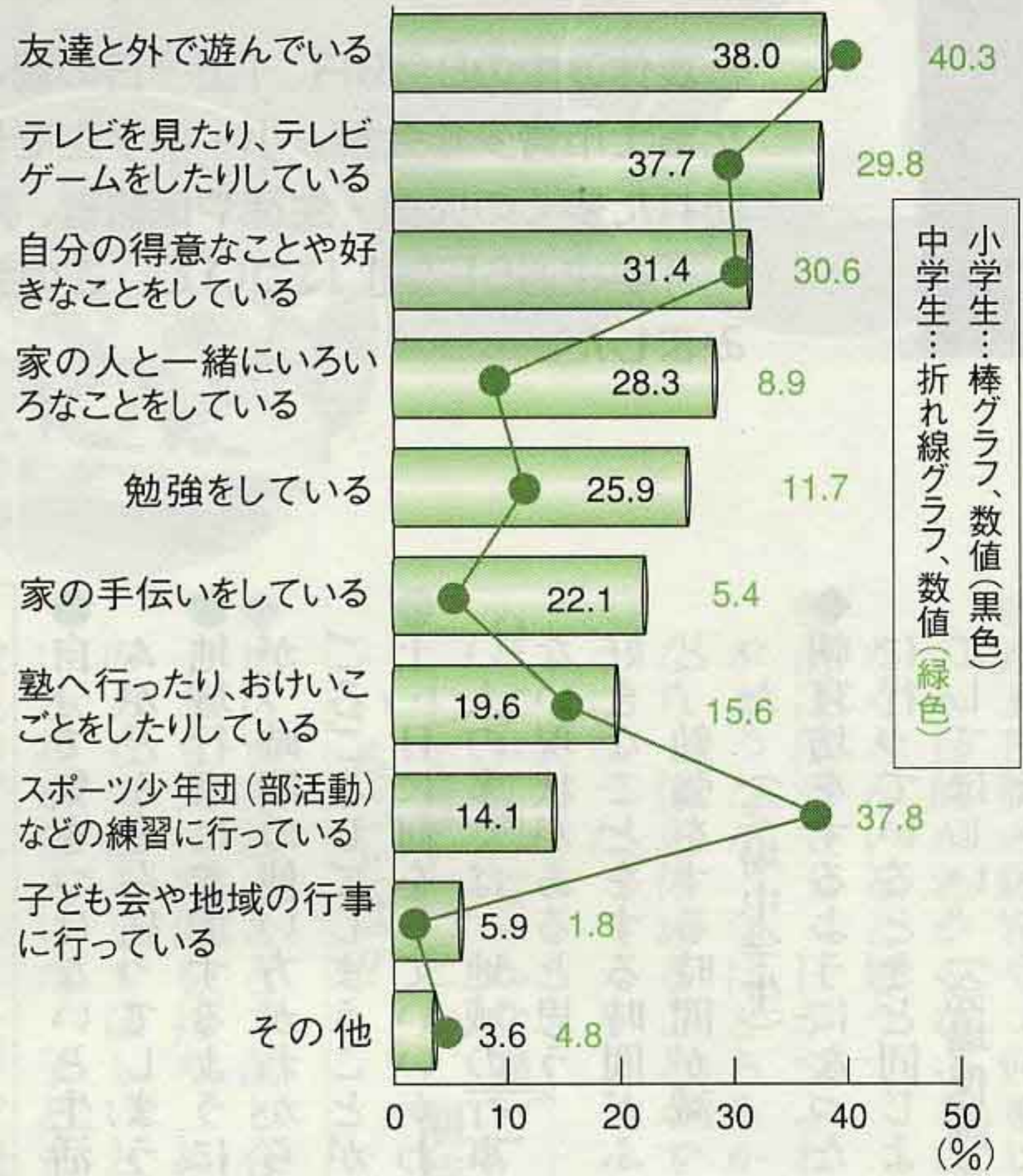
Q 学校週5日制になってから、お子さんの過ごし方は変わりましたか？



小学生では36.1%、中学生では41.2%の保護者が、子どもたちの生活に特に変化は見られないと回答。また、家族とのふれあいの時間がふえてきていると感じている保護者も多く、小学生では28.4%、中学生では14.6%を占めています。また、中学生の保護者は、部活動に力を入れるようになってきたと感じている親も多くいます。

## 子ども

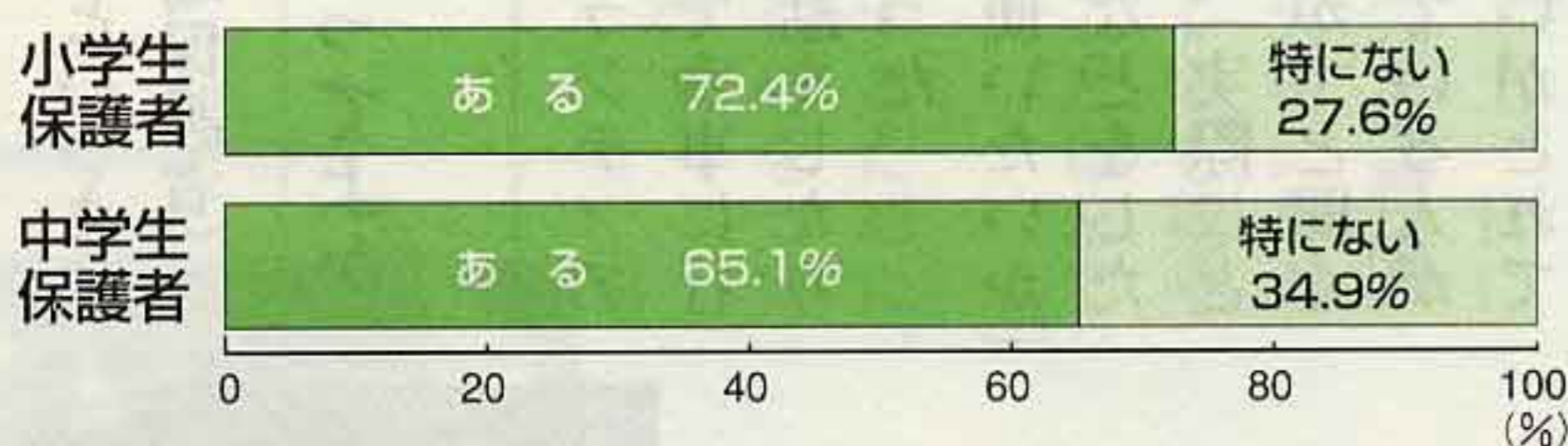
Q 休みの日、あなたはどんなことをしていることが多いですか？



休みの日の過ごし方は、小学生では、「友達と遊ぶ」、「テレビやテレビゲームなどをしている」が上位を占めています。

一方中学生は、「友達と外で遊んでいる」、「部活動をしている」がともにほぼ4割を占め、家の人と一緒に行動する子どもは1割以下とあまり多くありません。

Q 休みがふえて心配になっていることはありますか？



小・中学生とも7割ほどの保護者が何らかの不安を持っています。具体的な心配として一番多いものは、どちらとも「テレビやテレビゲームなどに没頭する時間がふえていること」で、約3割の保護者がこの不安を持っています。また、「過ごし方がわからず時間をむだにしていること」への不安も多く、どちらとも23%の保護者が心配と回答しています。



「心配がある」と答えた子どもは、具体的には、小学生では「学校生活が忙しくなることへの心配」、中学生では、「受験勉強に対する不安」、「だらだら時間を使ってしまうことへの不安」を約2割の生徒が挙げています。また、小学生で9.4%、中学生で15.5%の子どもが学習のおくれに対する不安を持っています。





富士市青少年会議 発

私たちが考える【土・日の過ごし方】

夏休み中の8月9日、「土・日の過ごし方を考える」をテーマにロゼシアターで行われた富士市青少年会議。小・中学生を代表して参加したパネリストによる討論が、会場に訪れた多くの児童・生徒や保護者、教師などを巻き込んで、活発に繰り広げられました。「学校週5日制」について、この会議に参加した皆さんから出された意見をまとめてみました。

…パネリストの意見

Q 完全学校週5日制になって、土・日はどのように過ごしていますか？

● 土曜日に習い事をしているが、家に帰ると計画が決まっていなくて、どうしてもだらだらと過ごしてしまおう。

● 友達と遊ぶ時間が多い。

● 家で趣味や将来の夢に向けて準備をしているが、勉強の時間が少なくなることに不安を持っている。

(会場中学生)

● サッカーをしたり、テレビを見たりしている。勉強もちょっとはしている。(会場中学生)

Q 以前と比べて変わったところはないですか？

● 自分で気をつけないと生活のリズムがどんどん狂ってしまう。

● 地域行事に参加するようになったが、時間の使い方がわからなくて、ごろごろしてしまうことがふえた。

● 土・日に何をしたいかわからない人の多くは、地域の行事を知らない現状があると思う。

● 好きなことをする時間がふえたけど、勉強をする時間が減ってしまった。(会場中学生)

● 朝寝坊をするようになった。学校に行っているときと同じように過ごしてほしい。(会場保護者)

● 家の手伝いをしてもらいたいが、

自主性を重んじているといつまでもしてくれない。(会場保護者)

Q 土・日が休みになってよかったですか？

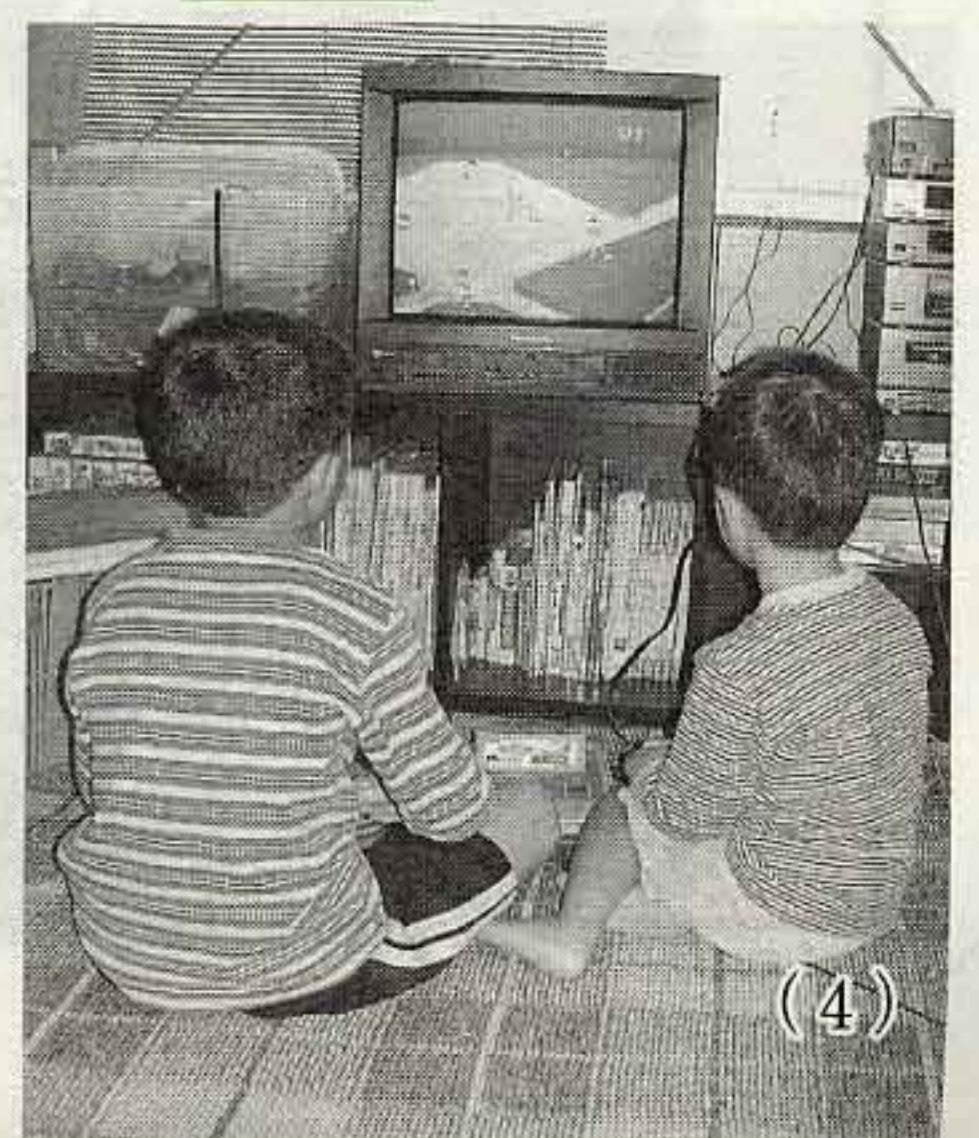
● 時間に余裕ができ、ボランティアに参加するほか、家族で食事に行ったり、友達と練習や話をしたりする時間がふえてよかった。

● 「どのように土・日を使いたいか」という質問には、勉強などをしたいと答える人が多いが、「実際にどのように過ごしているか」と聞くと、遊びやゲームをしている人が多くなっていてつり合いがとれていない。土・日の休みがあまり活用されていないように思う。

● だらだら過ごすことが多いから、土曜日に学校があった方が生活リズムもよくなると思う。

● 授業時数や習う項目が減ってしまった。私たち中学三年生には受験という壁があるし、後輩たちにも何かしら影響が出ると思うので、週5日制はあまりよくなかったと思う。

● 身近な人とかかわりの時間がふえた分、いろいろな場面で自分も成長していけると思う。土・日が休みになっていいことがまだまだこれからたくさんあると思う。だから過ごしてしまうことに対しては、過ごし方を自分で考えることでいい方向に行くと思う。







● 週五日制の趣旨や、何をしたいのか目的がわからないという人がたくさんいると思う。

● 前は部活で土・日がつぶれることがあったが、今はどちらか休みになり、体を休めることができるようになった。

**Q 子どもにこんな過ごし方をしてほしいとか、期待していることは？**

◆ 地区別懇談会などで話し合う中で、子どもには目的を持ち、めり張りのある生活をしてほしいと考えている親が多くいた。子どもと親の意見のずれを感じたが、親の意見でなくて、子どもが自分自身で考えていくことが大事だと思った。  
(会場保護者)

▽ 自分から地域に出て活動したり、親の手伝いをしたりすることを通して、人とふれあう機会を多く持つてほしい。  
(会場教師)

**Q 土・日の休みをより充実させるために、何をしますか？**

- 子ども会や公民館の行事に参加するのがいいと思う。
- 自分の趣味を深めていきたい。
- 地域の人たちとふれあうことや行事に参加することで交流を深めたい。
- 花を植えるなど地域の人たちと協

力して、みんなが和やかで落ちついた生活が送れるような環境づくりに使いたい。

● 金曜日の夜に、土・日をどのよう

● 土・日のどちらかはボランティアや勉強に使って、あとの一日は思い切り遊ぶ日にしたい。

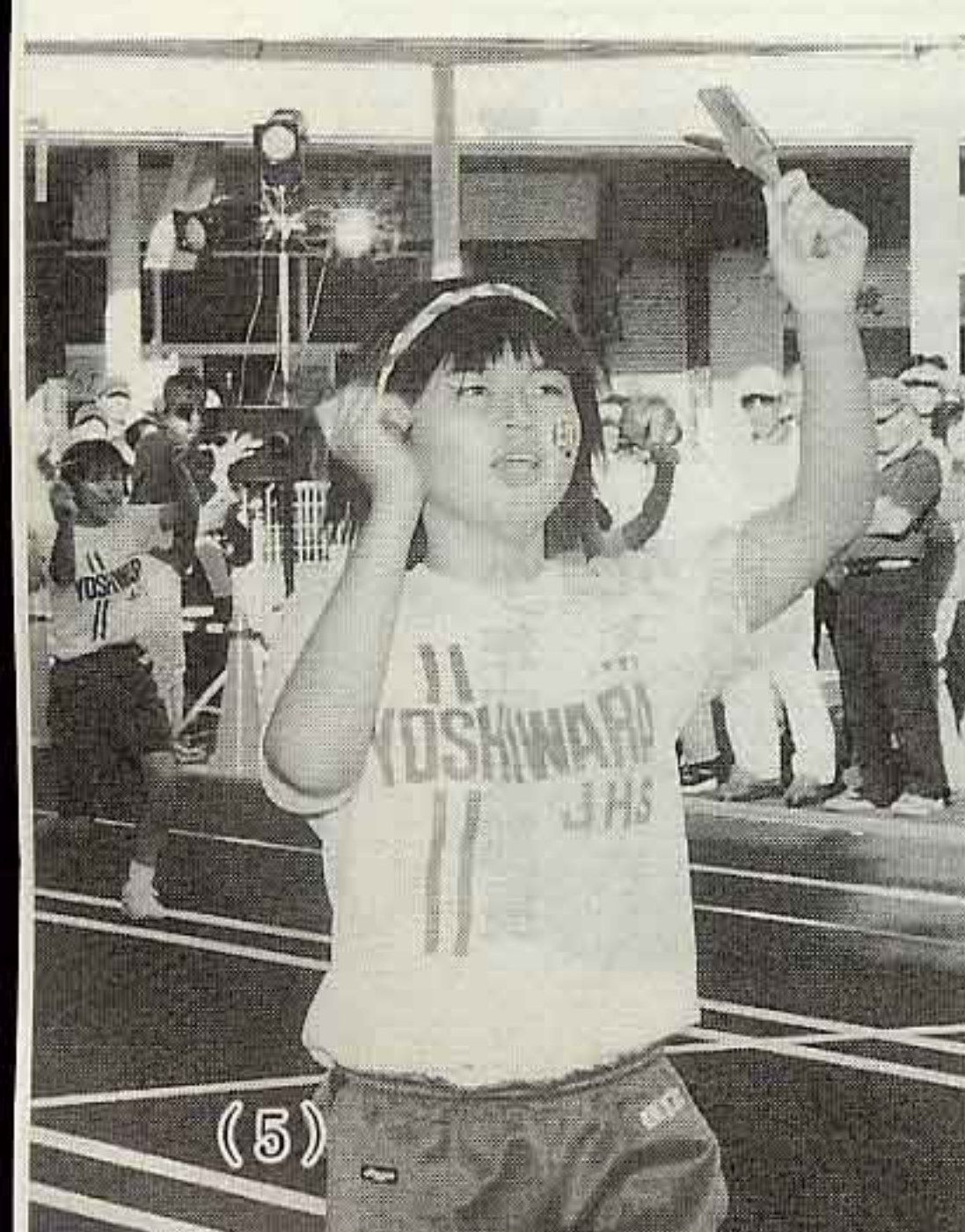
● 土・日に学校を開放して、ふだんの学校生活でできないことを行っ

● 土・日のどちらかで部活をしているときに、学校を開放して、地域の人たちや小学生が学校に来られるといいと思う。

▽ 完全週五日制になって、土・日を使って授業の準備をしている先生がとても多く、また自分の家庭を持つている先生も多い。土・日に引率するのが難しい。  
(会場教師)

● 身近な家族との生活を大切にしたい。特別なことをしなくても親や祖父母と一緒に過ごすことはとても勉強になると思う。

● 土・日に自分のことをするために、学校のある五日間をけじめをつけてしっかりと過ごしたい。





大淵第一小学校PTA

秋山真澄さん（大淵）



## 子どもと一緒に外でふれあいたい

週5日制が始まり、与えられた時間をどのように過ごしたらいいのかと不安がありました。いろいろな過ごし方があるとは思いますが、子どもにはテレビゲームをしたりテレビを見たりするなど、室内で遊んでばかりいてほしくありません。だからといって外で遊ぶとなると事故や不審者の問題など安全面の心配があります。昔に比べて遊ぶ空間が減ってきたことも、子どもたちの過ごし方に影響を与えていると思います。

ことから私たちPTAの成人教育部では、毎月第一・三土曜日の午前中に、小学校のグラ

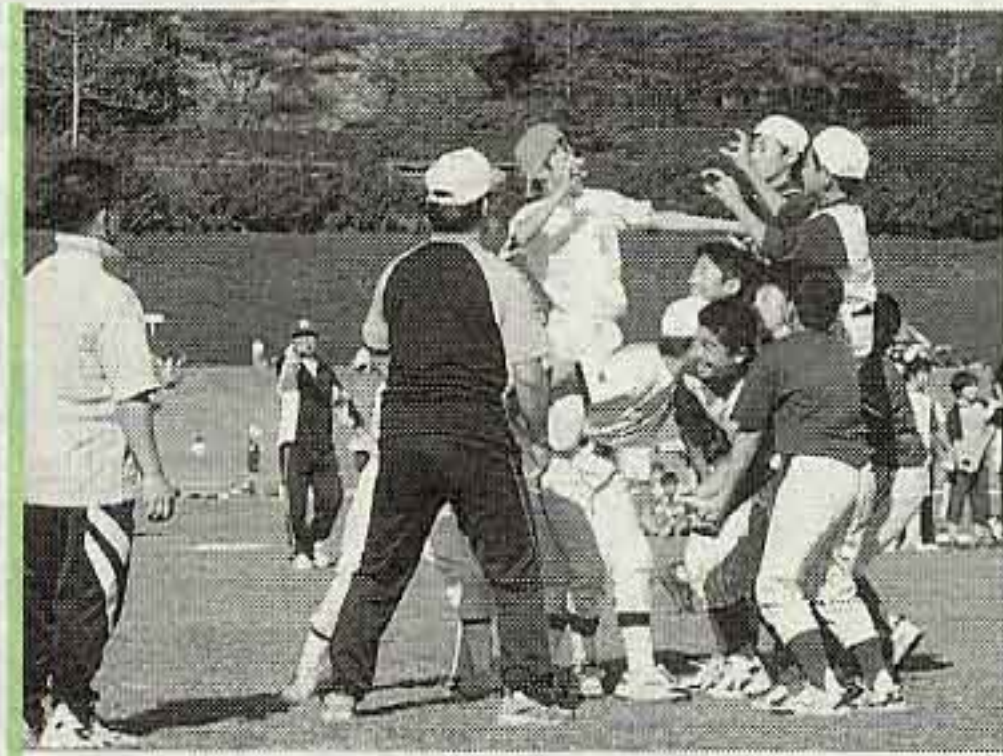


ウンドを使って自由に遊ぶ場を設けました。私も子どもと一緒に参加しています。地域の皆さんが集まり、顔見知りになって交流を深めていく場になることを期待しています。外で遊ぶことで人とかかわり合いも生まれてきます。子どもたちが自分で考えながら遊ぶことを期待しています。異年齢集団で遊ぶ楽しさを知ったり、体力づくりを目指したりしてほしいですね。子どもたちの見守りは部員が行っています。週末に仕事のある人が多くいますので、無理をせずお互い協力して継続していきたいと思っています。

# 完全学校週5日制が始まって



子どもにかかわる皆さんから、それぞれの立場から見た学校週5日制について話していただきました。



## スポーツを生涯楽しむ土台づくりに

私は剣道のスポーツ少年団で、週一回、月・金曜日の夜に子どもたちの指導をしています。週5日制が始まり、金曜日の夜のけいこでは、次の日が休みということからか、子どもたちが伸び伸びと活動し、表情にもゆとりが出てきたようにも感じられますね。

ただ、土曜日にもけいこを入れるなどして、週5日制によつてできたゆとりを少年団活動で縛ることはできません。保護者も少年団に子どもの面倒を任せられるのではなく、少年団活動を通じて家族の団らんを大切にしたいと思っています。夏の暑さや

富士市スポーツ少年団本部長

高木 亮さん  
あきり  
(中柏原新田)



冬の寒さに負けず、子どもたちが真剣に汗を流している様子を見てもらいたいですね。共通の話題もふえ、親子のきずなを深めるきっかけになると思います。これからは、週末を活用して、違う競技の少年団と交流する機会や、競技を離れて野外活動などを行い、交流できる場を設けていければと思います。週5日制になり、多くの子どもたちがスポーツに親しんでもらえるようになることを期待しています。活動を通じ、礼儀や作法を身につけ、スポーツを生涯にわたって楽しめる土台づくりをしたいですね。



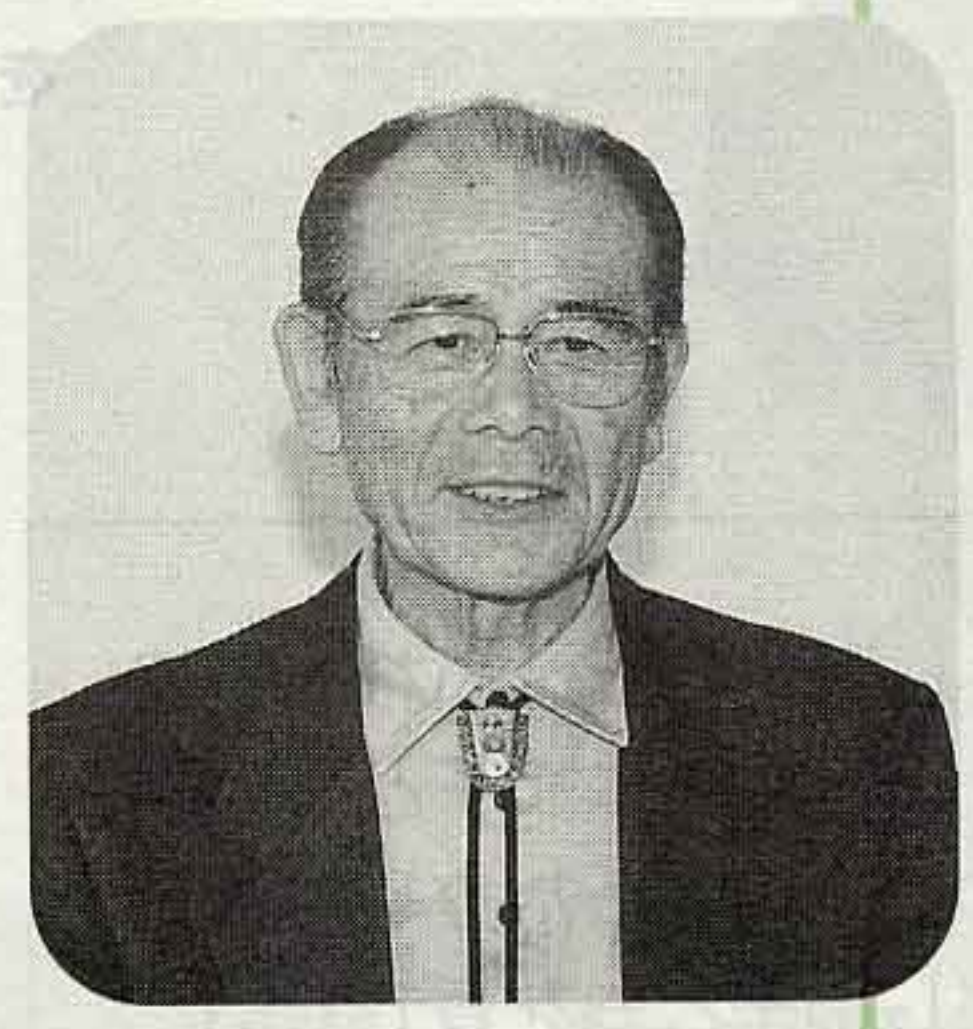
天間小学校では、開校以来の

伝統行事となつてきているものに米づくりがあります。以前は学校行事でしたが、授業時数の減少に伴い、平成七年から生涯学習推進会や子ども会、PTAなどがかわり、地区と一体になった行事に衣がえしました。とれた米は給食で食べたり、もちつき大会を行ったり、梅まつりのときに地区のお年寄りに赤飯弁当をつくって届けたりしています。このように子どもたちは米づくりを軸として、多くの地区の人たちと交流が深まり、広がりのある体験ができます。このほか推進会として、ことしから土曜日に小学校の体育館を使ってファミリールバドミントンなどを行い、親子で参加できる機会

### 子どもたちの自主性にこたえる準備を

をつくっています。

完全週五日制になったことで、学校と地区の各団体とで懇談会を持ちました。子どもたちや学校から、「こんなことをしてみたい」と投げかけがあれば、地区としていつでも応じられるよう準備していきたいと思います。そのためには各団体との連携を図ることが大切だと思います。ただ、子どもの自主性を考える、大人が積極的になって子どもを対象にした行事をむやみにふやすことはどうかと思います。文化祭や体育祭などの地区行事でも活躍できるような場をつくるなど、子どもたちが地域に溶け込んでいけるような工夫がまず必要ではないでしょうか。



天間地区生涯学習推進会会長

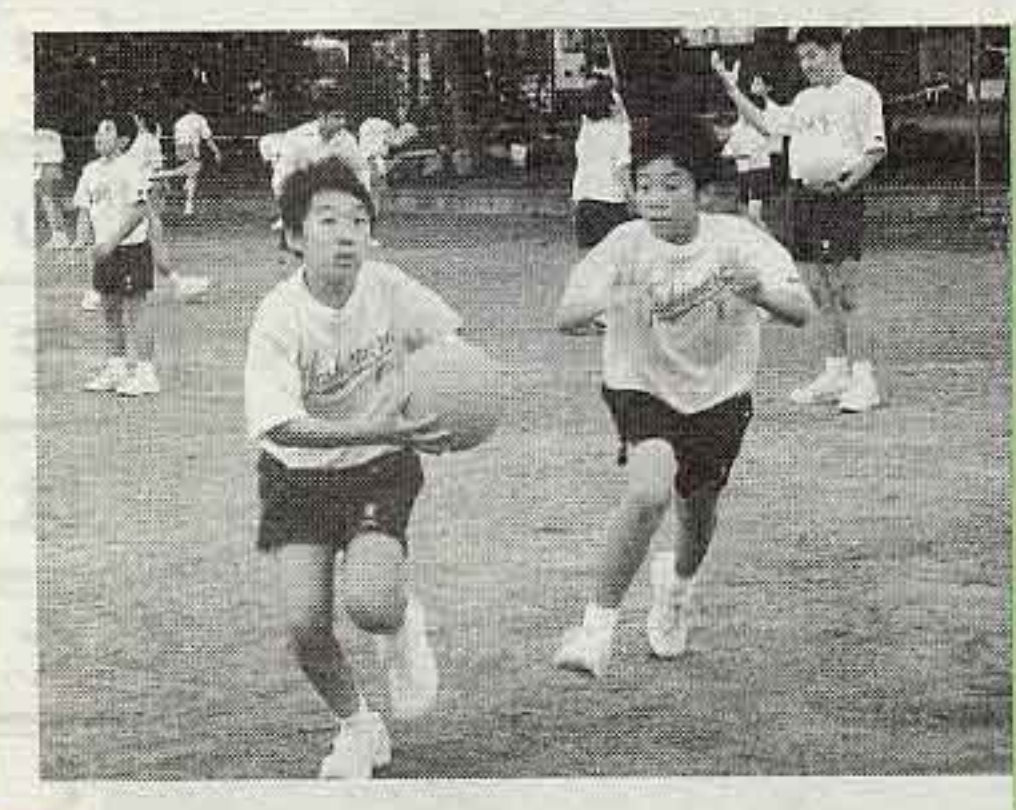
渡邊 威さん (天間)



### 声 巻くのも 子どもの取りさ 取りさ 皆



学校週五日制が始まり、子どもたちが興味・関心を持ったことをみずから追求する授業が多くなり、生き生きと学習に打ち込む姿が多く見られるようになりました。新しく始まった総合的な学習の時間では、福祉や環境など各学年の中ではほぼ共通の学習課題を設定し、その課題を解決するために学級内のグループがそれぞれ創意工夫をして授業に取り組んでいます。また、昨年までは月曜日に眠そうなお子どもたちが多かったのですが、部活動が土・日のどちらか一日になり休む時間がふえたためか、ことしは元気な顔つきで登校している姿が目立つようになりました。教師としては、子どもたちの



### 休日に目的を持った過ごし方ができるような指導を

学力が低下しないような授業内容の精選をはじめ、教材研究に時間が必要になりましたが、今まで以上に子どもたちを見つめ、それぞれの個性に合ったきめ細かな指導を心がけています。知識の量を追うのではなく、基礎・基本を定着させて学び方や考え方を育てることを重視し、子どもたちにとって必要な行事を計画していくことが大切になっていきます。子どもたちに休日の生活を尋ねると、「テレビを見たり友人と遊んだりしていた」という答えが多く返ってきます。学校週五日制の趣旨を理解させ、目的を持った過ごし方ができるように指導する必要があると考えています。



吉原第一中学校

渡辺利夫 教諭





完全学校週5日制と同時にことし誕生した「ふれあい協力員制度」。地域の皆さんの教育力を生かし、子どもの学びと遊びを支援したり、子どもの安全を守ったりして地域ぐるみで豊かな心を持ったたくましい子どもを育てていこうとするものです。

### 子どもにかかわりたい皆さんの力を活用して

ふれあい協力員になったのは、学校から協力員の話聞いたことがきっかけです。初めはどのような形で子どもにかかわればいいのか全くわかりませんでした。音楽が好きで、楽器に親しんでいたことから、吹奏楽部の指導に協力をしています。放課後や土・日など時間の都合がつくと、練習の指導や演奏会の手伝いに行きます。子どもたちは自分の子と同じくらいの年齢ですし、とても素直にこたえてくれるので、自然と足が向き指導にも熱が入ってしまいます。協力員の活動を通じて、子どもたちや学校の新しい発見にもなります。

子どもたちに積極的にかかわりたいと思っている人はきつと多いはずですね。そんな皆さんの力をぜひ活用してほしいですね。また、ふだんから全員が協力員のような意識で、子どもたちや学校を見守り、盛り上げていくことは大切ではないかと思えます。



吉原二中で吹奏楽部の指導に携わるふれあい協力員

山口 稔さん (今泉)



田子浦地区で冒険遊び場づくりに携わっている

田島浩子さん (川成島)

子どもの生きる力をはぐくむために、遊びのプログラムを提供することだけにとどまらず、人との関係を築けるような子どもの居場所を身近なところに確保することが大切だと思います。現在取り組んでいる冒険遊び場は、子どもが想像力を働かせ、自分の責任で自由に遊ぶ場所。身近でお金がかからずだれでも来られるところです。協力し合いながら遊びを自分たちでつくり出していくことで、子どもたちにもよい影響を与えてくれると思っています。

大人は子どもの遊びの世界では、じゃまにならないようにいて、必要なときに援助することが大切です。子どもは遊びを通して信頼できる大人と出会い成長していきまします。大人は子どもに対して素直に正面から向き合うことが必要ではないでしょうか。週五日制になって、子どもに対する大人の存在が問われているようにも思います。

### 子どもが自由に遊べる居場所の確保を

田島さんは3年前から「たごっこパーク」という冒険遊び場を設立。さらに地区の子ども会やPTAなどと一緒に冒険遊び場づくり協議会をつくり、県から「子どもをはぐくむ地域教育推進事業」の委託を受けるなど、地域の子どもをはぐくむための活動を繰り広げています。







## 生きる力をはぐくむために

### 生涯にわたって学び続ける力を

学校週五日制は子どもたちがゆとりの中で生きる力をはぐくむことを目指しています。さまざまな体験を通して、単なる知識だけでなく、身につけたことを活用する力、学ぶことに対しての意欲、考え判断する力、表現する力など、生涯にわたって学び続けるために必要な力を身につけてほしいと思います。

学校週五日制が始まり、学校では月曜日から金曜日までの五日間を充実したものにすするため、授業改善に取り組み、地域に信頼される学校づくりに努めています。各学校の確かな教育実践で、自分のよさに向かって努力する子どもたちを育て、皆さんの不安や戸惑いを取り除いていきたいと思ます。

一方、家庭にとっては土・日の過ごし方を見直すいい機会です。家庭だからこそ学べることや身につく習慣があります。子どもとかかわる時間を大切にしてほしいと思います。また、子どもたちの学習に地域が果たす役割は大きなものがあります。

街全体が生きた教室として  
子どもたちにかかわって

子どもたちには土・日の休みを利用して、

今まで興味・関心があってもできなかったことに積極的に取り組んでほしいと思います。公民館、博物館、図書館などでも子どもを対象とした講座を開いています。こうした講座に参加してみるのも一つです。

青少年会議でも土・日の過ごし方について意見や提案が多く出しましたが、何をどう支援していくべきかの答え探しは始まっています。子どもたちの積極的な働きかけに大人はきつとこたえてくれると思います。

### 学校、家庭、地域の連携を

「人は人間を浴びて人になる」という言葉のように、人は人とかかわり合いながら成長していきます。そして学びながら人は輝き、魅力を加えていきます。学校、家庭、地域が連携を深めながら、街全体が生きた教室のように、子どもたちにかかわっていくことで、子どもたちの命がきらめいていきます。



富士市教育委員会

平岡彦三 教育長

問い合わせ 学校教育課 ☎55-2869



# 平成14年度 富士市地域社会貢献者褒賞表彰

市は、コミュニティ活動をはじめ、社会福祉活動、文化活動、女性活動、交通安全活動、善行などで地域社会に貢献している市民・団体を対象に地域社会貢献者褒賞制度を設けています。

ことしは11月10日(日)にロゼシアターで11人が表彰されます。



## 文化活動



しおさきやすじ  
**塩崎安治さん**  
(東柏原新田)

昭和五十一年四月、駿河郷土史研究会会員となる。同会副会長、市立中央図書館古文書講座講師などを務め、会の発展と本市の歴史研究に尽力し、文化の振興に大きく貢献されました。

## コミュニティ活動



さえぐさとしあき  
**枝敏明さん**  
(中央町3)

平成二年四月、新追町町内会長に就任。富士市町内会連合会副会長、富士環境衛生自治推進協会会長などの要職を歴任し、地域の自治振興などに大きく貢献されました。

## 女性活動



すずきれいこ  
**鈴木麗子さん**  
(比奈)

平成三年四月、吉永地区婦人会副会長に就任。同会会長、女性ネットワーク富士副会長として、指導的役割を果たすと同時に、女性の社会参加と男女共同参画のまちづくりなどに大きく貢献されました。

## 社会福祉活動



みねむらまさこ  
**峰村全子さん**  
(柚木)

昭和五十二年十二月、民生委員児童委員に就任。富士駅北地区民生委員児童委員協議会副会長として地区をまとめ、指導的役割を果たすと同時に、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

## コミュニティ活動



いなばとしお  
**稲葉利夫さん**  
(入山瀬2)

平成四年四月、入山瀬天王町区長に就任。富士市町内会連合会常任理事、富士環境衛生自治推進協会評議員などの要職を歴任し、地域の自治振興などに大きく貢献されました。

## 交通安全活動



いしかわよしろう  
**石川榮朗さん**  
(天間)

昭和五十八年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全全指導員会天間地区幹事として、会の発展と交通事故防止及び交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

## 社会福祉活動



きもとひでこ  
**木本秀子さん**  
(浅間上町)

昭和四十九年十二月、民生委員児童委員に就任。伝法地区民生委員児童委員協議会副会長として地区をまとめ、指導的役割を果たすと同時に、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

## 社会福祉活動



すぎやま いわお  
**杉山 巖さん**  
(一色)

昭和五十年十月、保護司に就任。富士地区保護司会監事として地区をまとめ、指導的役割を果たすと同時に、多くの市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

## 交通安全活動



いりえ いたる  
**入江 至さん**  
(伝法)

昭和五十八年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全全指導員会総務副部長などの要職を歴任し、会の発展と交通事故防止及び交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

## 社会福祉活動



しま ゆきこ  
**嶋 幸子さん**  
(国久保1)

昭和五十一年四月、民生委員児童委員に就任。吉原地区民生委員児童委員協議会委員として地域福祉の向上に大きく貢献されると同時に、吉原地区婦人会副会長として女性活動の推進にも尽力されました。

## 社会福祉活動



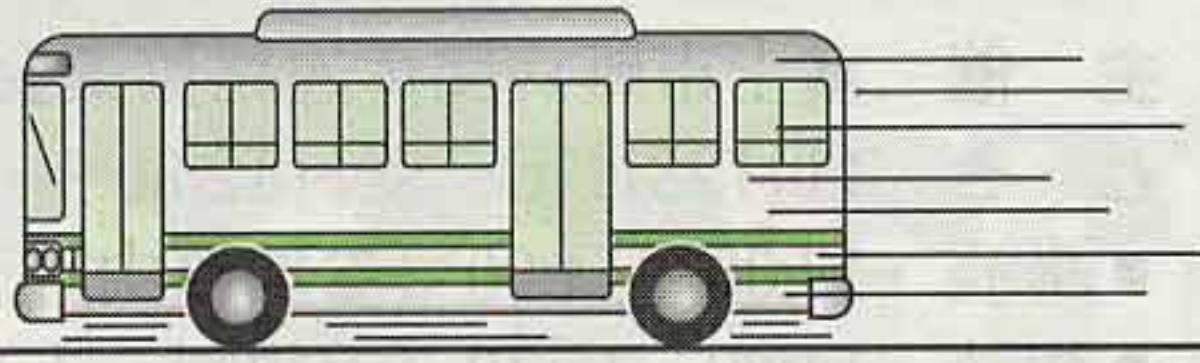
ふじい いさむ  
**藤井 勇さん**  
(伝法)

昭和五十一年十一月、保護司に就任。富士地区保護司会交通部長として地区をまとめ、指導的役割を果たすと同時に、多くの市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。



## お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域的话题をお届けしています。  
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。



## 市長への手紙から

### 路線バスの活性化を

ことしの四月一日～十月十五日の間に三百三十件の「市長への手紙」をいただきました。今回は、寄せられた声の中から、何通かに共通していた話題「路線バス」について紹介します。

#### 「市長への手紙」から

★ 昨年の四月に富士市に転入してきました。バスの便が少ないことに驚きました。バスをもっと充実させてほしい。

(三十代女性)

★ バスを利用することで、排気ガスが削減できたり、交通渋滞が解消されたりすると思います。バスの有効活用を。

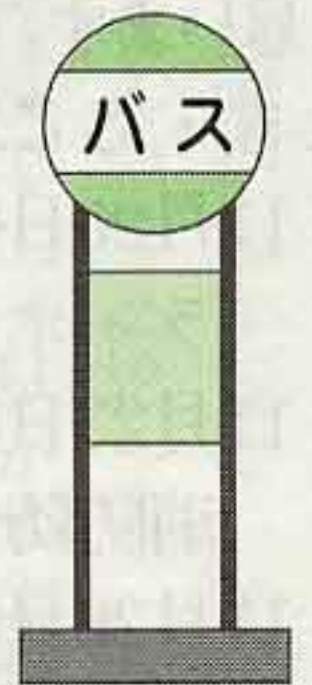
(二十代男性)

#### 【市長からの回答】

ご意見をいただきありがとうございます。ございました。

自家用自動車の増加などにより、路線バスの利用客数は年々減少しています。静岡県では、昭和四十三年度をピークに減少に転じ、現在ではピーク時の三割程度にまで落ち込みました。

このような状況は、富士市でも例外ではありません。富士駅～新富士駅間を例に挙げると、昭和六十三年には一日八十三



百五本が運行していました。しかし、利用客の減少に伴い、本数を減らさざるを得なくなり、現在は一日十七～二十六本となりました。そして、路線バス事業者は、多くの赤字路線を抱えています。

市では、路線バスを重要な公共交通機関であると考え、利用促進のPRや循環バス「ひまわり」の運行支援など路線バスの活性化に取り組んでいます。

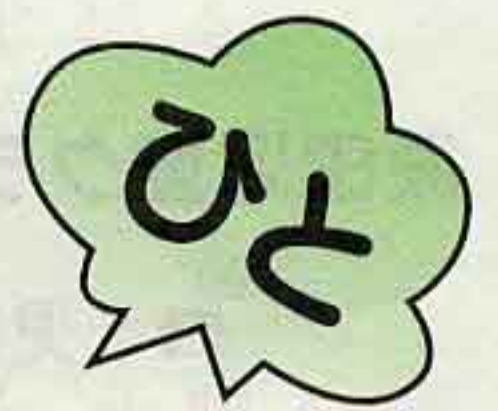
しかし、路線バスを充実させるために最も大切なことは、皆さんが積極的にバスを利用し、事業者が事業拡大を行える環境をつくることです。

今後も、皆さんの意見を聞いたり、バス事業者へ働きかけたりするなど、よりよく路線バスを利用できるよう取り組んでいきたいと考えています。

※現在、事業者が市に運行支援を求めている赤字のバス路線があります。この申し出について、皆さんの声を聞くため、市民説明会を開催します。詳しくはP12をごらんください。

問い合わせ 企画課

☎五五二七二一八



高知国体、少年女子ボウリングの個人戦、団体戦でW優勝を果たした

## 中野 麻希さん

(富士東高校3年 原田)



ことしの九月、高知県で開催されたよさこい国体に出場した中野さんは、少年女子ボウリングの部で、個人戦、団体戦ともに優勝という快挙を果たしました。

さらに個人戦(九ゲーム投球)では、平均二百二十六点をマークし、大会新を記録。また、二人一組で行われる団体戦は苦しみながらも、昨年の宮城国体に続き、二連覇を成し遂げました。身長百五十一センチメートルという中野さんは、小柄ながらも重さ十五ポンド(約七キログラム)のボールを使用。ボウリングの練習は週二～四回ですが、重いボールの投球に耐えられる体をつくるためのトレーニングは、毎日欠かさず行っています。

中野さんは「小学校四年生のとき、父に連れられて、ボウリング場へ行ったのが、ボウリン

グとの出会いでした。だれかに強制されるのではなく、自分から進んでボウリングの世界に入りました。中学一年生になり、財団法人全日本ボウリング協会富士クラブに所属し、それから競技として本格的に取り組みようになりました。高校一年生のとき、国体の東海ブロックで予選落ちしてしまい、とても悔しかったです。次の大会こそはと思いい、練習してきました。毎日の練習はきつく、休みなくなる日もありましたが、両親や監督など多くの人が私を支えてくれました。今回、初めて個人戦で優勝できたことがとてもうれしです。今は、頑張った自分を褒めてあげたいと思います」と笑顔で話してくれました。

来年の国体開催地は静岡県。中野さんの活躍が楽しみです。



**骨髄バンク休日ドナー登録会**

☎ 保健福祉センター 64-8991

と き 12月1日(日) 9:00~11:30

ところ 富士健康福祉センター

対 象

- ・20歳から50歳までの健康な人
- ・骨髄提供の内容を十分理解している人
- ・ドナー登録について家族の同意を得ている人

※登録には1時間程度かかります。

申し込み 電話で富士健康福祉センター健康増進課 ☎65-2206

**特発性拡張型(うっ血型)心筋症の講演会と医療相談会**

☎ 保健福祉センター 64-8993

主 催 富士市難病団体連絡協議会

と き 11月23日(土) 受付12:30~

●講演 13:00~14:00 (参加自由)

●相談 14:00~15:40 (予約制5人)

ところ 中央病院2階大会議室

対 象 心臓病を持っている人

受講料 無料

講 師 三川秀文さん (中央病院循環器科部長)

申し込み 11月19日から受け付けます。

電話で中央病院健康相談室へ

☎52-1131 (内線2918)

**離乳食講習会参加者募集**

☎ 保健福祉センター 64-8993

仕事などの理由で平日行っている離乳食講習会に参加できない人や初期の離乳食について知りたい人などこの機会に参加しませんか。

と き 12月1日(日) 9:30~11:30

ところ フィランセ西館2階調理実習室内

内 容 初期の離乳食に関する講義と試食

定 員 30人(先着順) 受講料 無料

持ち物 母子手帳、筆記用具

申し込み 11月19日~27日に電話で

保健福祉センターへ

**バスの赤字路線現状説明会**

☎ 企画課 55-2718

バスの赤字路線について、事業者より運行維持困難の申し出があります。現状と今後をどのようにしたらよいか説明会を開催し、市民の皆さんのご意見を伺いたいと思います。メールでも受け付けます。

とき・ところ

11月20日(水) 19:00~

ラ・ホール富士5階研修室

11月23日(土) 14:00~

消防防災庁舎7階大会議室

11月26日(火) 19:00~

富士市民センター第1会議室

☎kikaku@city.fuji.shizuoka.jp

**健康ふじ21計画市民啓発講座**

☎ 保健福祉センター 64-8993

「健康ふじ21計画」を知っていただくための市民啓発講座を開催します。お気軽にご来場ください。

とき・ところ 19:00~20:30 参加無料

・11月20日(水) 伝法公民館

・11月25日(月) 富士見台公民館

・11月26日(火) 原田公民館

・11月28日(木) 青葉台公民館

・12月3日(火) 岩松北公民館

・12月5日(木) 東公民館

・12月11日(水) 吉永北公民館

申し込み 当日直接会場へ

※18:30から血管年齢測定も行います。

**施設臨時休館のお知らせ**

施設保守点検などのため、次の施設を臨時休館・休場します。

◆富士総合運動公園内体育施設及び勤労者体育センター

12月11日(水) ※12日(木)は通常の休館日

◆市立富士体育館、富士柔剣道場

12月11日(水)・12日(木)

※受付業務は通常通りです。

☎ 施設利用振興公社 36-2131

**インフルエンザの予防ポイント**

12月から3月はインフルエンザの流行時期です。日常生活での予防のポイントは次の通りです。

日常生活での予防方法

- ・流行前にインフルエンザの予防接種を受ける
- ・人ごみを避ける
- ・マスクを着用する
- ・うがい手洗いを励行する
- ・室内の乾燥に気をつける
- ・十分な栄養と休養をとる
- ・特に乳幼児と高齢者は肺炎などの合併症を引き起こしやすいので十分注意する
- ・乳幼児のいる家庭は、周りの人もインフルエンザの予防に気をつける

※日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。またインフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内の湿度を適度に保つことが有効です。

☎ 保健福祉センター 64-8992

**原田児童クラブ指導員募集**

☎ 児童福祉課 55-2763

児童クラブで小学生の放課後と一緒に過ごす指導員を募集します。勤務は平成15年4月からで、クラブの休みは、日・祝日・お盆・年末年始で勤務時間は相談に応じます。

申し込み 原田児童クラブ 鈴木 方

☎51-1344

**11月の休日当直医など**

内科・小児科・外科

救急医療センター 51-0099 津田

●診療時間

平日 午後7時~翌朝8時

土曜日 午後2時~翌朝8時

日曜祝日 午前9時~翌朝8時

◆11月10日(日)

産婦人科 中島産婦人科医院 51-4188 青島町

眼科 杉浦眼科 65-8500 川成新町

耳鼻科 アミクリニック 981-3341 清水町

柔道整復 藤原接骨院 21-3309 神戸

◆11月17日(日)

産婦人科 望月産婦人科医院 34-0445 西比奈

眼科 花崎眼科医院 66-0100 青葉町

耳鼻科 井口医院 971-5400 三島

〃 かみでクリニック 53-3321 伝法

柔道整復 高橋接骨院 53-8751 石坂

◆11月23日(土)

産婦人科 宮崎クリニック 66-3731 松岡

眼科 加藤医院吉原分院 57-3000 中央町

耳鼻科 崎川医院 975-9131 清水町

柔道整復 船津北村接骨院 34-5352 船津

◆11月24日(日)

産婦人科 池田産婦人科医院 21-2228 石坂

眼科 長野医院 60-7100 柚木

耳鼻科 沼津市立病院 924-5100 沼津

柔道整復 近藤接骨院 52-5187 今泉

◎休日救急歯科診療

診療時間 午前9時~午後4時

診療場所 歯科医師会館 ☎53-5555

平日の夜間及び休日当直医の  
問い合わせは… ☎51-9999



## 生け垣づくり補助金制度

☎ みどりの課 55-2793

市では、美しく安全で安心して住めるまちづくりを進めるために「生け垣づくり補助金制度」を実施しています。

## 補助金額

- 生け垣づくりにかかった費用の2分の1で、10万円が限度
  - 生け垣にするためのブロック塀などの撤去費用の2分の1で5万円が限度
- ※希望者は工事を着手する前に必ずみどりの課へ申請してください。

シルバー人材センター  
ふれあいフェスティバル

☎ シルバー人材センター 53-1150

と き 11月23日(土) 9:30~15:00  
 ところ 富士市高齢者就業センター  
 内 容 書道・華道・洋服リフォーム・盆栽などの作品展、チャリティーバザー、手芸品の即売会、焼きそばなどの模擬店、囲碁親善試合、空くじなしの抽せん会、障子張り・お飾りづくり・和紙絵画・手まりづくりの実演など

特別養護老人ホーム  
「みぎわ園」入所者募集

☎ 介護保険課 55-2766

平成15年4月、今泉に特別養護老人ホーム「みぎわ園」が開設されます。  
 定員 80人

申し込み・問い合わせ 11月20日~12月5日(土日は除く)の9:00~17:00に申込書(みぎわ園事務局、介護保険課にあります)を持参して、社会福祉法人芙蓉会みぎわ園事務局(今泉2220)へ  
 ☎52-1397

青少年センター  
青年教養講座

☎ 青少年センター 21-6129

講座名	期間	曜日	時間	回数	定員	教材費
パソコン(ワード)	1/6~3/17	月	19:00~21:00	10回	10人	2,500円
パソコン(エクセル初級)	1/8~3/12	水				
パソコン(エクセル)	1/9~3/13	木				
エアロビクス	1/8~3/12	水	19:30~21:00	10回	20人	無料
英会話(ビギナー)	1/10~3/14	金	19:00~20:00			
英会話(中級)	1/10~3/14	金	20:00~21:00			

ところ 青少年センター(広見小学校西側)

対象 市内在住・在勤で15~30歳の人(中・高校生は不可)

受講料 教材費のほか、保険料250円と利用者会費500円が必要となります。

申し込み 11月18日~12月6日に、直接または往復はがき(1講座×1枚)の往信用の裏面に希望する講座名、曜日、住所、氏名、生年月日、電話番号を、返信用の表面に住所、氏名を書いて、〒417-0862 石坂456-5 青少年センターへ(応募者多数の場合は抽せん)

※応募者が定員の半数に満たない場合は中止となります。

平成14年度  
富士市パソコン点訳講習会

☎ 障害福祉課 55-2761

と き 12月7日~平成15年3月1日(12月28日、1月4日・25日を除く)毎週土曜日9:30~11:30 全10回

ところ フィランセ東館2階ふくし学習室

内容 点字を読むことを重点に、基礎から実践的な点訳の学習を通じて、視覚障害者への理解を深める

対象 市内在住・在勤で本講習会終了後に点訳ボランティアとして活動できる人

定員 8人(応募者多数の場合は抽せん)

受講料 無料

申し込み 11月20日~27日に電話で障害福祉課へ

## 環境シリーズ No.51

## 「環境シンポジウム」を開催します

市では、昨年に引き続き、「第2回富士市環境シンポジウム」を開催します。ことしのテーマは、富士市環境基本計画のテーマ「富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち」です。

環境問題は、市民、事業者、行政の三者のパートナーシップのもと、幅広く協力し合っていかなければなりません。身近な環境から地球環境問題まで幅広く環境問題を考えるシンポジウムです。

第2回富士市環境シンポジウム  
(入場料無料)

と き 12月7日(土) 13:30~16:30

ところ ロゼシアター中ホール

## 内 容

- 環境の状況と環境基本計画について
- 第一部 団体発表  
市内で環境活動を行っている団体や事業所、小中学校、こどもエコクラブの児童生徒などによる発表
- 第二部 トークライブ  
富士宮市在住の山村レイコさん(エッセイスト)をゲストに招き、環境に配慮したライフスタイルについてのトークライブ
- 表彰式  
「地球を考える環境家計簿」や「地球温暖化防止のポスター」の優秀者などの表彰

## ●パネル展(ロビー)

地球環境問題についてのパネルや市内で環境活動を行っている団体、こどもエコクラブなどの活動状況についての展示

## 申し込み

11月5日~25日に環境シンポジウム参加申込書(環境保全課または各公民館にあります)を郵送またはFAXで環境保全課へ。参加証はがきを送ります。☎51-9854

このほか、当日直接会場でも受け付けます。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

問い合わせ 環境保全課 ☎55-2776



**女性ネットワーク・富士  
レディース・フェスタ**

☎ 男女共同参画室 55-2724

と き 11月24日(日) 9:30～  
 ところ フィランセ西館4階ホール  
 内 容 講演会、記念式典、活動紹介・展示、地場産品バザー (果物、惣菜、菓子など)  
 … 講演会 10:10～11:30 …  
 テーマ 「女性の力と四つの縁」  
 講 師 長谷川幸介さん (茨城大学助教授)  
 参加費 無料  
 申し込み 当日直接会場へ。お気軽にご参加ください

**ラ・ホールコンサート  
～クリスマスのひとつとき～**

☎ ラ・ホール富士 53-4300

と き 12月7日(土) 17:00～19:00  
 ところ ラ・ホール富士2階多目的ホール  
 内 容 クリスマス音楽の演奏・マジックの披露・ビンゴゲーム  
 定 員 勤労者とその家族50組 (先着順)  
 参加料 勤労者2,000円、家族1人につき500円 (2歳以下は無料)  
 申し込み 11月23日～30日に申込書 (ラ・ホール富士にあります) に必要事項を書いて、直接ラ・ホール富士へ

※ご家族にクリスマスプレゼントがあります。当日は軽食・飲み物が出ます。駐車場に限りがありますので車でのご来場はご遠慮ください。

祭りや行事、見どころを紹介  
 ダイヤルお出かけ情報 ☎53-1111

施設の休みや開館時間をお知らせ  
 ダイヤル施設案内 ☎52-1111

**納税  
相談**

～市役所～

★市県民税・固定資産税 ☎収税課 (3階) 55-2730  
 11月18日(月)・19日(火) 17:00～19:00

★国民健康保険税 ☎国民健康保険課 (3階) 55-2753  
 11月25日(月)・26日(火) 17:00～19:00

**愛鷹連峰へ登山するための  
アドバイス!**

☎ 消防本部警防課 55-2856

愛鷹連峰の冬山登山は、悪天候、急激な気象の変化など特に注意が必要です。登山する際は、次のことを心がけ安全に登山しましょう。  
 ●朝早く出発し、早目に下山しましょう。  
 ●経験のすぐれたリーダーなど同行動しましょう。  
 ●崩壊が激しいため装備は万全にしましょう。  
 ●登山者カードを必ず提出しましょう。

**ラ・ホール富士の自主事業**

**エアロビクス・シェイプアップボクササイズ・エクセル・ワード教室**

☎ ラ・ホール富士 53-4300

教室名	と	き	回	定員	受講料	
エアロビクス	1/15～3/19	毎週水曜日	10:00～11:30 19:00～20:30	10回	30人	4,000円
	1/16～3/20	毎週木曜日	19:00～20:30			
	1/17～3/28	毎週金曜日	19:00～20:30			
シェイプアップボクササイズ	1/7～3/25	毎週火曜日	19:00～20:30		5,000円	
エクセル	1/7～2/4	毎週火・木曜日	10:00～12:00	8回	20人	8,000円
	2/2～3/23	毎週日曜日	13:30～15:30			
ワード	1/8～1/31	毎週水・金曜日	10:00～12:00			
	2/1～3/22	毎週土曜日	19:00～21:00			

ところ ラ・ホール富士 対 象 勤労者、一般 (学生は除く)  
 申し込み 11月26日～12月1日の9:00～20:30に直接ラ・ホール富士へ (応募者多数の場合は抽せん)  
 ※代理人での申し込みは1人分のみできます。

**11月の教育委員会会議**

11月定例会を次のように開催します

と き 11月20日(水) 13:30～

ところ 市役所6階第2会議室

☎ 教育総務課 55-2865

**電話加入権の公売**

☎ 収税課 55-2730

市は富士財務事務所などと共同で差し押さえた電話加入権を公売します。  
 と き 11月19日(火) 10:40～11:00  
 ところ 県富士総合庁舎301会議室  
 お問い合わせ 富士財務事務所納税課 ☎65-2123

※中止になる場合がありますので、事前に電話で確認してください。



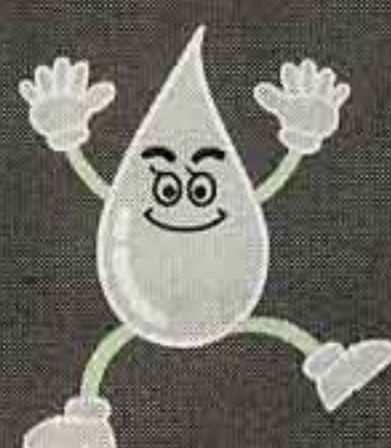
**11月の水道料金・下水道使用料**

※納入は2か月に1度です (地区によって納入月が異なります)

○納入期限 11月29日(金)

(納入通知書は、当月中旬に郵送します)

○口座振替日 11月28日(木)



～納入は便利で確実な口座振替で～

市指定金融機関の窓口で直接お申し込みください。

持ち物 通帳・印鑑 (届印)・水せん番号 (各世帯配布の「使用水量等のお知らせ」に記載) ※申込書は金融機関にあります。

問い合わせ 水道部営業課 55-2846



さわやか健康体操教室

☎ 文化スポーツ課 55-2876

ところ	と	き	定員
鷹岡公民館	1/6～3/17	毎週月曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも50人
	1/9～3/13	毎週木曜日 計10回 10:00～11:00	
鷹岡市民プラザ	1/7～3/25	毎週火曜日 計10回 (1/14、2/11休講) ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも35人
A 元吉原公民館	1/6～3/17	毎週月曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも35人
	1/9～3/13	毎週木曜日 計10回 10:00～11:00	
須津公民館	1/9～3/13	毎週木曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも35人
天間公民館	1/8～3/12	毎週水曜日 計10回 10:00～11:00	35人
B 市立富士体育館	1/8～3/12	毎週水曜日 計10回 10:00～11:00	各クラスとも60人
	1/10～3/14	毎週金曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	
富士見台公民館	1/9～3/13	毎週木曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも50人
広見公民館	1/7～3/11	毎週火曜日 計10回 10:00～11:00	各クラスとも35人
	1/10～3/14	毎週金曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	
旭化成武道場	1/9～3/13	毎週木曜日 計10回 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	各クラスとも35人

内容 ストレッチ体操、リズム体操、レクリエーション

対象 市内在住で60歳以上の人

参加費 1,000円(スポーツ安全保険料を含む)

申し込み Aは12月4日(水)、Bは12月5日(木)の9:45～10:00に受講料を持参し、各会場へ(旭化成武道場の申し込みは田子浦公民館で行います)

※1人1会場だけ参加できます。1人で2人以上の申し込みは不可。

我が家のアイドル  
写真募集

かわいいお子さんの掲載写真を募集しています。住所、子ども・両親の氏名、子どもの生年月日、電話番号、コメント(25字以内)を書いて〒417-8601富士市役所広報広聴課へ ※紙面の都合上掲載が出来る場合があります。写真はお返しできません。

●●● 市民れんらく版 ●●●

★富士山防災シンポジウムの開催について

とき 11月21日(木) 13:00～16:00

ところ ロゼシアター中ホール

定員 700人 入場料 無料

申し込み 11月19日まではがきまたはFAXに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いて、〒420-0853静岡市追手町9-22 読売新聞静岡支局へ ☎054-252-0310

★富士地域森と木と住まいのツアー 参加者募集

とき 11月30日(土) 9:00～16:00

内容 富士地域の木材伐採現場、製材工場、木造住宅建築現場を貸し切りバスで案内(昼食は各自持参)

対象 木造住宅建築に関心のある人

定員 20人 参加費 無料

申し込み 11月20日まではがきに

住所、氏名(2人まで記入可)、年齢、電話番号、富士住まいのツアー希望と書いて、〒416-0906本市場441-1富士農林事務所森林整備課へ ☎65-2202

★再就職準備セミナー

とき 12月2日～4日

計3日間 10:00～17:00

ところ 県富士総合庁舎6階602会議室

対象 離職し、現在求職活動を行っている人

定員 20人(先着順) 受講料 無料

申し込み 11月21日までに電話で富士県行政センターへ ☎65-2103

★県男女が共に参画する地域活動支援事業DVサポーター養成講座

エンジョイスports教室

☎ 文化スポーツ課 55-2876

とき 平成15年1月7日～3月18日  
10:00～11:30 毎週火曜日 計10回

ところ 市立富士体育館

内容 ニュースポーツ、ストレッチ体操、リズム体操

対象 市内在住・在勤の人

定員 70人

参加費 1,000円(スポーツ安全保険料を含む)

申し込み 12月6日(金)の9:00～16:00に、直接文化スポーツ課へ(1人で2人以上の申し込みは不可)

沼津駅付近の鉄道高架に伴う  
都市高速鉄道の都市計画案縦覧

☎ 都市計画課 55-2786

東駿河湾広域都市計画都市高速鉄道都市計画案を縦覧します。

とき 11月8日～22日 8:30～17:15

ところ 富士市役所4階都市計画課  
県庁東館12階都市計画室

縦覧の内容 都市高速鉄道東海道本線延長約1万4,970メートルの都市計画についての決定

※この都市計画案に意見のある人は、縦覧期間中(11月22日必着)に住所、氏名を書いて、静岡県知事あてに意見書を提出することができます。

提出先 〒420-8601静岡県都市計画室または〒417-8601富士市役所都市計画課

問い合わせ

・県都市計画室 ☎054-221-3187

・富士市都市計画課

ところ フィランセ西館

第2回 11月30日(土) 13:30～16:00

[DV(ドメスティックバイオレンス)シンポジウム]

第3回 12月14日(土) 13:30～15:00

[DV被害者への支援]

対象 DVに関心がある人

受講料 第2回1,000円

第3回2,000円(資料代含む)

問い合わせ DVサポートネット静岡

☎60-2866

★静岡アラノン合同ミーティング

とき 11月24日(日) 13:00～16:00

ところ ハートピア清水(清水市)

対象 アルコール依存の問題を持つ人の家族、友人(参加費無料)

問い合わせ NPO法人アラノンジャ

パンGSO ☎03-3472-7712



かしわ ばら から うす ひき うた

# 柏原穀臼挽唄



第17回



保存会の始まりは昭和六十年。地域の老人会の人たちが、もともとあった穀臼挽唄を、柏原のうたとして手直したことがきっかけでした。初めは、うたしかありませんでしたが、平成四年から演じ手や語り手なども加わり、手作業の大変さや農業の楽しさも伝えていきます。

現在は機械化された米づくりも、「米」という漢字があらわすように、八十八の手間がかかり、昔はすべてが手作業で楽ではありませんでした。

穀うすひきは、農作業のもみすり作業の一コマで、うすを手で回し、もみ穀と玄米に分ける作業です。

農作業の合間を演じる様子には、素朴な会話の中にも温かい味があり、昔を忍ぶよい機会にもなっています。温かさは、うたやせりふだけでなく、手づくりの衣装や小道具、セットにもうかがえます。

現在の会員は、小学校二年生から八十歳代までの二十六人。五、六年前から小中学生が参加するようになり、うたい手として登場します。演じ手は七十歳代、八十歳代。実際に農作業をしてきた人たちなので、手つきや腰つきなど、とても上手に演じています。

役員や会員はほぼ柏原二丁目の人たちで構成され、町内挙げてこの活動に取り組んでいます。昨年は、ふるさと芸能祭に出演しました。子どもからお年寄りまで参加しているの、和気あいあいとした雰囲気です。

今の悩みは、演じ手の高齢化です。農作業を経験してきた人たちの演技は、経験のない人と比べものならず、次を担う人がなかなか出てきません。演じ手をふやすために、また地域で継承していくために、将来は柏原二丁目にとどまることなく、柏原地区全体に広げて活動していきたいと考えています。

私たちは、農作業する古きよきものの姿を残したいと、この会を引き継いできました。これからは、いろいろな場で、柏原穀臼挽唄を伝えていきたいと思っています。



柏原穀臼挽唄保存会  
会長 高木 孝悦さん (沼田新田)

## こちら編集室

今回の特集の取材や編集をしていて、「かかわり」という言葉に幾たびとなく接した。

私の場合、中学生のとき部活動で出会った楽器や音楽に今も親しんでいる。活動を通じ今までにさまざまな人と「かかわり」を持つ

ことができた。人が私を成長させてくれ、生涯の楽しみをもたらしてくれた。

取材でいくつかの学校に足を運び、元気にあいさつしてくれる子どもたちから力もらった。お返しにふれあい協力員になろうかな。

人口 242,392人 (前月比+104)  
男 120,688人 (+70)  
女 121,704人 (+34)  
世帯 83,828世帯 (+86) 10月1日現在  
編集・発行 富士市総務部広報広聴課  
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100  
☎51-0123(代) ㊚51-1456



PRINTED WITH SOY INK

平成十四年十一月五日号

ホームページ <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています